



桜の花びら散る前に

今年の桜は開花が早かった分、新年度を迎える頃には、葉桜へと移ろい始めていた。新しい仲間を迎え入れた日、なかよし会の中でもそんな言葉で挨拶をしながら、新たな一年が始まる。

この4月の初日は、穏やかに晴れ上がった青空の記憶ばかりなのだが、今年はなぜか少し心許ない空模様。桜の様子といい、何かいつもの季節感と微妙にズレていく感じに、もう一つペースを掴めぬまま、年度替わりの行政との雑務に瞬く間に一週目が奪われていく。

職員たちの新クラスを語る言葉の端々に聞き耳を立てながら、日々の保育日誌の一言一句を追いつながら、何とか自分の本来の居場所を確認する…そんな毎日だった。

3月に巣立った卒園児たちが植えていってくれたプランターの花は満開。ひとつつ進級をしたばかりの後輩たちが、ふらりと



以前、2歳児クラスのこんな保育日誌(3月2日)を読んだ。

ごっこ遊びに使っている手鏡に、窓から差し込む日差しに安心感を感じたいという願いもあるはずで、これも大事なことだ。

に安心感を感じたいという願いもあるはずで、これも大事なことだ。

この世の扉を開いてまだ数年。日々、未知との遭遇を繰り返す彼らは、毎日が真剣勝負。ただその彼らだって、やがて安心感と引き換えに、わかった気になって、驚きや感動をどこかに売り渡してしまうかもしれない。しかし、その時こそ、周りが「わかる」を刷新させていく時。自分はまだ「わかっていない」ということが「わかる」…この瞬間を高揚感とと共に味わえるようになることが、育つことの一つの意味なのかもしれない。

大人たちも、共に育つ場所でありたい。ようこそ、せいびへ、新年度へ。

園長 折井誠司

「これから出てくるんだよ。」という言葉が、この「反射」という現象を、実は忠実に見事に表現していることに唸ってしまった。私たち大人は、ただこを「反射」という単語に置き換えているだけで、現象そのものの



「これから出てくるんだよ。」という言葉が、この「反射」という現象を、実は忠実に見事に表現していることに唸ってしまった。私たち大人は、ただこを「反射」という単語に置き換えているだけで、現象そのものの

●編集 幼保連携型認定こども園せいび
●発行人 折井 誠司
●印刷所 折井 誠司
●発行所 幼保連携型認定こども園せいび
社会福祉法人 誠美福祉会
〒192-0364 東京都八王子市南大沢5-12
電話 042-675-11551
ファックス 042-677-5643
Email: seibi@kodomoakyō.jp
http://kodomoakyō.jp